

組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数 ・観光入込客数 ・関係人口の創出につながる施策を通じて新潟市での暮らしに興味を抱いた人の割合	作成日	R5.4.1
組織名(部)	中央区役所	組織名 (準部・課・機関名)	地域課	評価日	R6.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	持続可能なコミュニティづくりに向け、地域コミュニティ協議会や自治会・町内会などの各種地域団体と連携・協働を進めます。	政策1-1-① 政策1-1-② 行財3-2-②	地域団体の総会や各種イベント参加、意見交換実施回数※未利用公共用地に係る地域との勉強会や意見交換等の実施回数を含む	50回	84回	・地域コミュニティ育成事業 ・公有財産活用推進事業 ・旧大畑少年センター解体事業	地域コミュニティ協議会が持続的な活動を行い、また、地域の特性を活かしたまちづくり活動を行えるよう、各団体の運営や活動に要する経費の一部を補助するなどの支援を行います。また、区内に所在する小学校等の大規模跡地について、利活用に向けた地域との勉強会や意見交換を行い、地域課題の把握とその解決に資する利活用方法を検討します。	○	達成 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことなどもあり、地域団体の会合やイベントへの参加を依頼されることが前年に比べて増加していることや未利用公共用地の利活用・新たなコミハの建設に伴う地域との協議実施など、地域課題把握や意見交換の機会は増加していることから、目標を上回る回数となった。	引き続き、地域団体の会合や各種イベントへの参加や未利用公共用地等に関する地域との意見交換に努め、各種地域団体と連携・協働を進める。
2	人口減少、高齢化が進行するしもまち地域において、移住・定住人口の増加につなげるため、(令和5年度は重点的に)交流人口、関係人口創出に努めます。	政策10-1-① 政策10-1-② 政策11-1-④	①日和山浜海水浴場の観光入込客数 ②関係人口創出のための事業実施回数	①6,000人(R4:5,650人) ②1回	①17,880人 ②1回(トビラプロジェクト)4人 ほか県外大学生限定のインターンシップ受入1回(3人)、国の新入職員の実地研修受入1回(4人)、国際交流員の事業体験1回(4人)	日和山浜魅力創出事業～ハマベリング!!!～	しもまちの地域資源である日和山浜を活用し、魅力付けとしての浜辺の環境整備や、賑わい創出のためのイベントを実施し、特に若い世代の交流人口の増加を図るとともに、大学生を対象とした体験・滞在型の関係人口創出事業などに取り組み、移住・定住人口の増加につなげていきます。	○	①達成 浜辺における自然環境を楽しめる環境づくりやイベント実施の効果があつたと考えられる。 ②達成 「トビラ・プロジェクト」のほか、インターンシップ等の仕組みを活用して関係人口の創出に努めた。	・今年度の実施を踏まえて来年度のグランドオープンに向けた事業の計画や調整等をしっかりと行っていく。 ・「ハマベリング!!!ネットワーク」を軌道に乗せ、多様な主体との連携・協働を促進できるように努める。
3	関係機関等と連携し、中央区の特色ある魅力の効果的かつ戦略的な情報発信に努め、区民の地域への愛着の醸成と、賑わいの創出に努めます。	政策10-1-②	①中央区公式インスタグラム投稿数 ②区だより現地取材件数	①インスタ投稿数:100 ②区だより現地取材件数:24	①261(投稿94、ストーリーズ167) ②52	・区公式インスタグラムの更新 ・区だよりの発行 ・その他多様な広報媒体を活用した情報発信	SNSをはじめとする様々なメディアを効果的に活用し、ターゲットを意識した戦略的広報に取り組むことで、区民の地域を愛する心を育むとともに、賑わいの創出に努めます。	○	①達成 インスタ投稿数 投稿94、ストーリーズ167 ②達成 区だより現地取材52(3月17日号まで)	・インスタ投稿は、昨年度の3倍近いペースで投稿をおこない、中央区の魅力発信をすることができた。投稿数に比例し、フォロワー数も着実に伸びているため、今後も積極的な発信を行っていく。 ・区だよりは、ハマベリングの連載をはじめ、地域の活動の様子等を地域の声と共に掲載し、地域と一緒に情報発信に取り組んだ。今後も継続して地域と共に中央区の魅力発信に努める。
4	中央区の伝統的産業である「古町芸妓」についての認知度向上、担い手確保につながる取組に努めます。	政策2-4-① 政策2-4-②	参加者アンケートで古町芸妓に興味を持った人の割合	80%	新潟青陵学園の課題解決プロジェクト(後期)と連携し実施。参加者6人(大学1人、短大2人、高校3人)。	古町芸妓PR事業	学生等、若い世代の「古町芸妓」への認知度を高めるとともに、担い手の確保にもつなげることを目的としたPR事業を実施します。	○	達成 3月の鑑賞会後に実施した参加者アンケートの結果、全員が「プログラム(事業)を通して古町芸妓に興味を持って」と回答(100%)。 <事業概要> 1月:専門員によるレクチャー 2月:古町芸妓座談会・体験会 3月:古町芸妓鑑賞会イベント ※2月、3月の取組は新潟日報にも取り上げてもらい、PRにつながった。	今年度実施した事業の効果や課題等を整理しながら、より効果的に古町芸妓の魅力を発信できる事業になるよう次年度に向けて取り組んでいく。

組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・SDGsの達成に向けて具体的に取り組んでいる市民の割合	作成日	R5.4.1
組織名(部)	中央区	組織名 (準部・課・機関名)	窓口サービス課	評価日	R6.3.26

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)	概要			
1	業務改善活動に取り組み、窓口サービスの向上を図ります。		・業務改善件数	27件以上	47件	業務改善の推進	各係・改善ワーキングチームで課題を洗い出し、改善方法を検討、それぞれが3件以上の改善を実施します。	○	繁忙期の混雑緩和に向けた情報発信方法等の見直しや、収納金の事務ミス防止のための確認手順の見直しなど、47件の業務改善に取り組み目標を達成しました。	窓口サービスの向上につながるよう、改善内容の検証を行うとともに、引き続き、各係や改善ワーキングチームで業務課題を洗い出し改善に取り組みます。
2	繁忙期における窓口の混雑緩和を図ります。		住民異動届の繁忙期間中(令和6年3月)、最大待ち時間が30分を超える日数	2日以内	3日 (3/25:49分、 3/28:73分、 3/29:42分)	窓口繁忙期対策の推進	広報による市民への周知や混雑状況インターネット配信の活用のほか、研修など職員の育成を図るとともに効率的な窓口対応ができるよう改善に取り組みます。	×	デジタル行政推進課のサービスデザイン事業を活用し、マイナポータルなどを活用した情報発信やチラシの改善を実施しましたが、マイナンバーカードの券面変更処理の増加もあり、目標を達成できませんでした。	改善ワーキングチームを中心に実施内容の検証を進め、より効果的な取り組みができるよう、次期繁忙期に向け準備を進めます。
3	市民との協働により鳥屋野潟の環境啓発・美化に取り組み、SDGsの普及啓発に努めます。	行財3-1-1-①	SDGsの普及啓発(環境啓発事業や美化活動に参加した市民の人数)	2,000人以上	1,400人 (出前講座:7校1,340人、鳥屋野潟一斉清掃:60人)	鳥屋野潟環境啓発事業「とやの物語」の実施	市民や企業・団体等で構成する実行委員会を中心に、子ども達への啓発活動「出前講座」やコミ協など地域が主体的に実施する「鳥屋野潟一斉清掃」など、協働による取り組みを推進します。	△	出前講座は、環境学習発表会に替えて学校の成果発表会に参加、学校の事情で講座の実施回数は前年より減少したが、鳥屋野潟一斉清掃は地震の影響で一斉清掃の体制はとれなかったが地域に協力を呼びかけ個別実施につながった。	実施結果について、実行員会で情報を共有するとともに、次年度事業の実施に向け、出前講座のメニューの見直しなど準備を進めます。

組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画における政策指標	・新潟市は子育てしやすいまちと思う保護者の割合 ・自分が健康だと思ふ市民の割合 ・住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができると思う高齢者の割合	作成日	R5.4.1
組織名(部)	中央区	組織名 (準部・課・機関名)	健康福祉課	評価日	R6.3.28

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)			
1	妊娠・出産期の幸福感を高め、希望する子どもの人数を実現できるよう、産前・産後のケアを強化し、保護者同士や専門機関などとのつながりを促進することで、孤独の解消と子育てに関する正しい理解が深まるよう支援します。	政策4-1-③	・妊カフェ・育カフェ参加後に育児不安が軽減した割合 ・10か月育ちの講座参加後に10か月の発達・今後の発達の見通しが理解できた割合	90%	・妊カフェ100% ・育カフェ100% ・10か月99.2% ※3月末現在アンケート結果より	みんなであつなごにこ子育て応援事業	妊娠期やお子さんの月齢にあわせた専門職への相談や仲間づくりの場を提供するとともに、妊娠期から乳児期にわたる切れ目のない支援を関係機関と連携、協働で行います。	参加者アンケートの結果から目標は達成	引き続き、妊娠期から乳児期にわたる切れ目のない支援を関係機関と連携、協働で行い、妊婦や保護者の不安軽減に努める。
2	子どもは社会の宝であるという認識のもと、身近な地域で見守り、子育てする取組の支援により、地域全体が子育てに関心を持ち、応援する機運醸成を図り、地域全体で子育てを支援する環境づくりを推進します。	政策4-3-① 政策4-3-②	赤ちゃん誕生祝い会及び交流会が今後の地域との交流のきっかけとなった人の割合	90%	98.9%	赤ちゃん誕生祝い会 & 交流会支援事業	赤ちゃん誕生祝い会や交流会をきっかけとして、子育て中の保護者と地域住民との顔の見えるつながりをつくり、地域全体で子育てをする環境づくりを推進します。	事業目的にかなった開催と交流のしつこく推進員などの関係者と随時打合せを実施のうえ会を開催した。参加者アンケートの結果から目標は達成。	・交流会については、令和5年度からの取り組みであるため、挙げられた課題を活かし、次年度以降、より多くの方から参加してもらえよう取り組む。 ・より多くの地域から開催してもらえよう、広報に努める。
3	市民一人一人の、食生活や運動など生活習慣の見直しを促進し、生活習慣病の発症を予防します。併せて特定健診やがん検診、歯科健診の定期的な受診を勧めることで、生活習慣病の早期発見、疾病の早期治療につなげます。	政策6-1-①	・HbA1cについて理解できた割合 ・小中学校を通じた保護者への受診勧奨実施校数	90% 小学校20校 中学校7校	・HbA1cについて理解できた割合: 94.2%(4団体134人) ・小学校:20校 ・中学校:11校 ※3月末現在	レッツトライ! 糖尿病予防事業	糖尿病を予防するための正しい知識の普及啓発を図るほか、小中学校と連携した保護者への健診(検診)受診勧奨と啓発を実施します。	・HbA1cについて理解できた割合は参加者アンケート結果から目標達成 ・小中学校を通じた保護者への受診勧奨は、小学校は目標の20校、中学校は目標の7校を上回る11校で実施することができた。	・引き続き小中学校を通じた保護者への受診勧奨を行う。
4	認知症の人ができる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指し、認知症施策を推進します。	政策7-1-②	認知症の方やその家族を支える地域づくりの必要性の理解度	90%	理解度100% 認知症講座でのアンケート結果(3回実施)	認知症地域支えあい推進事業	認知症への正しい理解の普及啓発や関係者間の連携強化、地域におけるはいかい模擬訓練開催などの支援により、地域の支え合い活動の支援を推進し、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりに取り組みます。	啓発活動に向けた中央区版ケアパスを作成し、認知症講座を実施。理解度の目標を達成。併せて地域におけるはいかい模擬訓練の支援も行った。	引き続き講座の開催による理解度の推進と、はいかい模擬訓練などの支援、啓発を進めていく。
5	適正な事務の執行を確保するため、コンプライアンスの徹底、内部統制制度による事務ミスや不正の発生防止に努めます。	行財1-1-①	内部統制制度の報告件数	現状値以下(令和4年度:2件)	0件	コンプライアンスの推進	職員研修などによりコンプライアンス意識の浸透・徹底を図るとともに、内部統制制度を活用し、再発防止の取り組みを共有することで、事務処理誤り等の削減に取り組みます。	朝礼の活用等によるコンプライアンスの徹底や、日常業務の改善に取り組み、適正な事務の執行に努めている。	コンプライアンスの徹底、知識不足等による不適切な事務処理の発生防止のため、係毎に対策を講じる。あわせて分野別に8区係長会議を継続し、制度の見直しを含めた課題検討を継続していく。

組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画における政策指標	・新潟市は子育てしやすいまちと思う保護者の割合 ・自分が健康だと思ふ市民の割合 ・住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができると思う高齢者の割合	作成日	R5.4.1
組織名(部)	中央区	組織名 (準部・課・機関名)	東地域保健福祉センター	評価日	R6.3.28

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	全ての妊産婦が安心して子どもを 生み育てられるよう、一人一人に 寄り添い、それぞれのニーズに応 じた相談支援に取り組みます。ま た、児童虐待防止に向け、関係機 関等と連携し、適切な支援につな げます。	政策4-1-③	・特定妊婦のフォ ロー率	100%	100%	毎月1回、特定妊婦の 支援方針及びモニタリ ングを実施 ・月2回課の児童虐待 検討会で情報共有、 アセスメント、支援方 針を検討	・特定妊婦について、リスク要 因シートを作成し、センター内、 課内で共有し、適切な支援を 実施します。 ・児童虐待防止に向け、関係機 関と連携協力し、適切な支援を 実施します。	○	・毎月一回センター会議で 特定妊婦の支援方針及び モニタリングを実施し、計画 的に妊婦支援を実施した。 ・課内の検討会に情報提 供し、通告や支援方針につ いて検討した。	・来年度も引き続きセンター 会議で支援方針の決定やモ ニタリングを行い、支援を実 行する。困難ケース等は課内 の会議で情報共有する。
2	市民一人一人の、食生活や運動 など生活習慣の見直しを促進し、 生活習慣病の発症を予防します。 併せて特定健診やがん検診、歯科 健診の定期的な受診を勧めること で、生活習慣病の早期発見、疾病 の早期治療につなげます。 健診データを活用し地域や学校、 医療機関等と連携し課題解決に向 けた取り組みを推進します。	政策6-1-①	・健康講座参加者 のHbA1cについて 理解できた割合	90%	91%	レッツトライ！糖尿病 予防事業	・レッツトライ！糖尿病予防事 業の地域での専門職を派遣し た健康講座をセンター管内に1 回実施します。	○	・南万代コミ協(南万代健 幸クラブ)で実施。25名出 席、HbA1c理解度92%・後 期は2地区民協、出張健康 相談2か所(米山荘・東地 区公民館)で健康教育等を 実施し理解度は90%で あった。	・来年度も引き続き、地域で の健康教育や出張健康相談 を実施し、糖尿病予防の啓発 及び生活改善に取り組む。
			・管内の小中学校 を通じた保護者等 への受診勧奨校数	小学校5校 中学校1校	小学校5校 中学校1校	レッツトライ！糖尿病 予防事業	センター管内の小中学校 へ学校訪問・学校保健委員会 等で啓発実施。掲示や資料配 布等を行います。	○	・センター管内の小中学校5 校、中学校1校に学校訪問 実施。 ・小学校5校に事業説明し 資料を配布した。中学校1 校は保護者参加行事にポ スター掲示依頼した。	・来年度も引き続き、小中 学校と連携し、保護者等への受 診勧奨を実施。
3	認知症の人ができる限り住み慣 れた地域で自分らしく暮らし続け ることができる社会の実現を目指し、 認知症施策を推進します。	政策7-1-②	・認知症を支える地 域づくりの必要性が 理解できた割合	90%	93%	認知症地域支え合い 推進事業	・認知症地域支え合い推進事 業の地域を支援する関係者へ の啓発を実施します。	○	・後期にリーフレットが完 成。1地区民協へ啓発健康 教育を実施理解度93%	・来年度は、5地区民生委員 等へリーフレットを活用し健康 教育を実施。
4	適正な事務の執行を確保するた め、コンプライアンスの徹底、内部 統制制度による取り組みを実施 し、市民の視点を大切にしたい信 頼される業務を行います。	行財1-1-①	・窓口や業務改善 について所内研修 等の実施	3回	3回	コンプライアンスの推 進	・職場内窓口対応研修の実施 ・所内で事業改善策は災害に 備えた視点で職場内研修、地 域の情報を整理します。	○	・特定医療費や妊産婦医 療費助成・介護保険申請 について研修を行った。 ・窓口資料の作成と展示物 の見直しを行った。・地域 で災害時の健康管理につ いて健康教育を行った(4 か所)	・来年度も窓口業務について気 づき、注意、改善点について話 し合い正確な事務処理を行う。 ・災害時の対策は地震もあつた ため関心が高く、来年度も保健 指導を行う予定(老人クラブ・乳 幼児の保護者向け等)

組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画における政策指標	・新潟市は子育てしやすいまちと思う保護者の割合 ・自分が健康だと思ふ市民の割合 ・住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができると思ふ高齢者の割合	作成日	R5.4.1
組織名(部)	中央区	組織名 (準部・課・機関名)	南地域保健福祉センター	評価日	R6.3.28

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)			
1	全ての妊産婦が安心して子どもを 生み育てられるよう、一人一人に 寄り添い、それぞれのニーズに応 じた相談支援に取り組みます。 また、児童虐待防止に向け、関係 機関等と連携し、適切な支援につ なげます。	政策4-1-③	・特定妊婦のフォ ロー率	100%	100%	毎月1回、特定妊婦の 支援方針及びモニタリ ングを実施 ・月2回課の児童虐待 検討会で情報共有、 アセスメント、支援方 針を検討	○	・毎月1回、センター打合せ で特定妊婦の支援方針の 検討及びモニタリングを実 施し、特定妊婦へのフォ ローを100%実施。 ・課内の関係者で情報共有 し、支援方針を検討。	・来年度も引き続き、センター 打合せで支援方針及びモニ タリングの実施及び関係者間 の情報共有を行い、適切な妊 婦支援を実施。
2	市民一人一人の、食生活や運動 など生活習慣の見直しを促進し、 生活習慣病の発症を予防します。 併せて特定健診やがん検診、歯科 健診の定期的な受診を勧めること で、生活習慣病の早期発見、疾病 の早期治療につなげます。 健診データを活用し地域や学校、 医療機関等と連携し課題解決に向 けた取り組みを推進します。	政策6-1-①	・健康講座参加者 のHbA1cについて 理解できた割合	90%	95.0%	レットライ！糖尿病 予防事業	○	・上所校区、女池校区、山 潟校区コミュニティ協議会 で実施。 <理解度> 上所:95%(41/43名中) 女池:93.5%(29/31名中) 山潟:96.2%(25/26名中)	・来年度も引き続き、地域で の健康教育を実施し、糖尿病 予防の啓発及び生活改善に 取り組む。
			・管内の小中学校 を通じた保護者等 への受診勧奨実施 校数	小学校6校 中学校1校	小学校6校 中学校1校	レットライ！糖尿病 予防事業	○	・センター管内の小中学校、 中学校(4)へ学校訪問し、取組 みの説明、啓発の協力依頼を 実施します。 新規の取組みとして、中学校1 校で、保護者への健診(検診) 受診勧奨と啓発を実施します。	
3	認知症の人ができる限り住み慣れ た地域で自分らしく暮らし続けるこ とができる社会の実現を目指し、 認知症施策を推進します。	政策7-1-②	・認知症を支える地 域づくりの必要性が 理解できた割合	90%	100%	認知症地域支え合い 推進事業	○	・山潟校区コミュニティ協議 会と協働して講演会を開 催。 参加者:28人 アンケート回収:26人 <理解度> 100%	・来年度は、民生委員等へ リーフレットを活用し啓発を実 施。
4	適正な事務の執行を確保するた め、コンプライアンスの徹底、内部 統制制度による取り組みを実施 し、市民の視点を大切に信頼 される業務を行います。	行財1-1-①	・職場内研修開催 件数	3回	3回	コンプライアンスの徹 底、事務ミス等の発生 防止にむけた職場内 研修の開催	○	・職場内で、服務等に関す る研修、ハラスメント研修、 内部統制に関する研修を 実施。 ・新規職員に窓口業務の 研修会を実施。分野別の 窓口の研修会を実施。	・来年度も引き続き、適正な 事務の執行、コンプライア ンスの徹底に取り組み、職場内 研修を実施。

組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画における政策指標	就労支援を受けた生活困窮者のうち、就労や増収につながった人の割合	作成日	R5.4.1
組織名(部)	中央区	組織名 (準部・課・機関名)	保護課	評価日	R6.3.29

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)			
1	適正な事務の執行を確保するため、コンプライアンスの徹底、内部統制制度による事務ミスや不正の発生防止に努めます。	行財1-1-①	生活保護費の返還決定に関する各システムのデータ突合回数(回)	3回	3回	債権管理事業	生活保護事務において発生する各種返還金について、返還決定に関する文書管理システム、財務会計システム及び生活保護システムのデータに不整合がないか年3回(8月、12月、3月)確認します。	○ R5年度の債権について、文書管理システム、財務会計システム及び生活保護システムのデータの突合を8月と12月と3月に実施し、不整合がないことを確認し、無事に目標を達成しました。 <内訳 3月実施分> 63条返還金分 68件 78条徴収金分 18件	定期的に、適切に実施できるよう担当と情報共有しながら進めていきます。
2	生活保護受給者の就労意欲の向上を図り、就労に結び付けていきます。	政策7-3-①	就労自立促進事業における支援対象者のうち就労を開始した人数(人)	132人	156人	就労自立促進事業	・事業参加者の66%が就労開始できるようハローワークと連携して取り組んでいきます。 ※目標は、新潟労働局も構成員となっている「生活保護受給者等就労自立促進事業運営協議会」の目標値と同じで、参加者は200人を目標としています。	○ 就労自立支援事業への参加者のうち就労を開始した人は、3月末に156人となり、今年度の目標は達成しました。	就労支援グループ、就労支援員、ハローワークナビゲーターと連携し、雇用情勢や参加者の意向を共有しながら進めていきます。
3	生活保護世帯(生活困窮者世帯及びひとり親世帯を含む)の主に中学生に学習習慣を定着させるとともに、個別相談等を通じて世帯の自立を支援します。	政策4-2-①	学習支援員による個別相談や家庭訪問の実施回数(回)	20回	25回	学習支援事業	学習支援員とボランティアの大学生が連携して学習会を運営する。さらに学習支援員が個別相談等を通じて、継続的な参加及び進学につながるよう支援します。	○ 後期は、個別相談を2人の学習支援員併せて計17回実施し、年度末まで25回の個別相談を実施し、目標を達成しました。	学習支援グループ、学習支援員と情報を共有しながら進めていきます。
4	生活保護受給者に特定健診の受診を奨励し、生活習慣病の重症化を予防します。		40歳から64歳の保護受給者の特定健診受診率(%)	12%	8.7%	健康管理支援事業	・特定健診の対象は40歳以上・そのうち受診率の低い64歳以下の受給者について重点的に受診奨励します。 ※過去最高値(R1の11.2%)以上を目標としています。	× 3月末見込では、8.7%(対象者1,189人中103人受診)となり、残念ながら目標値には届かない結果となりました。	対象者に積極的に家庭訪問を行い、受診のメリットを説明します。 また、担当CW、健康管理グループ、健康管理支援員が対象者の現状を共有し、取り組んでいきます。

組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画における政策指標	身近な公園について、安心・安全で快適に利用できると思う市民の割合 ・道路が適切に整備・管理されていると思う市民の割合 ・居住誘導区域に住む人口割合	作成日	R5.4.1
組織名(部)	中央区	組織名 (準部・課・機関名)	建設課	評価日	R6.3.29

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	美しい自然環境を将来に引き継ぐため、保全に取り組みます。	政策14-4-②	西海岸公園における松くい虫の被害木調査に対して、処理する本数の割合(%)	100	・4月、5月調査分は全数処理完了。 ・9月、11月調査分は2月までに全数処理完了。	松くい虫防除事業	・西海岸公園における松くい虫被害の収束に向けた対策の実施します。 (被害木の伐倒燻蒸の実施、薬剤の空中散布の実施)	○	・春(4月、5月)の調査結果に対しては全数処理が完了し、秋(9月、10月)の調査結果に対しては1~2月で全数処理しています。 ・確認された被害木については、適切に処理しています。	・来年度以降も継続して調査を行い、引き続き全数処理を行っていく方針です。
2	区民や地域と協働して様々な事業に取り組みます。	政策1-1-③	・西海岸公園において地域住民と協働で行うクロマツの管理(除伐)活動などへの参加人数(人)	100	・浜浦小学校及び地元コミ協や、一般公募の区民と協働で松の枝打ちや除伐を行った。(参加人数)	区民協働森づくり事業	・地域との協働で西海岸公園に植栽したクロマツの維持管理(密度管理としての除伐)を実施します。	○	・小学校及び地元コミ協や、区民との協働による枝打ち・除伐では、約220名の参加があり、指標を大幅に上回り目標を達成しました。	・今後も引き続き、地域との協働で西海岸公園に植栽したクロマツの維持管理(密度管理としての除伐)を実施していきます。
3	事業効果の早期発現を図ります。	政策15-1-①~④	R5年度内竣工予定工事の第2四半期における発注率(%)	80	・竣工率100%	工事発注	・事業効果の早期発現のため、工事の早い段階での発注を実施します。	○	・第2四半期での目標を大きく上回りました。 ・早期の発注により年度内に100%竣工を達成しました。	・今後も工事の早期発注を継続して事業効果の早期発現を図り市民サービスの向上に取り組みます。
4	各種申請手続きについて丁寧な説明と速やかなサービス提供に努めるほか、賑わいあふれる区民の集いの場を提供します。	政策1-1-①	管理施設の貸室(天寿園、燕喜館)の年間利用者数(人)	13,200 【内訳】 天寿園:9,500 燕喜館:3,700	25,891 【内訳】 天寿園:19,250 燕喜館:6,641	区民の集いの場の提供	・天寿園や燕喜館の貸室利用者数を増加させることにより、賑わいのあるまちづくりにつなげます。	○	・特に天寿園の貸室利用者数が増加し指標を大幅に上回り目標を達成しました。	・今後、「公の施設に係る受益者負担」に基づく利用料等の改定により、利用者数の抑制が見込まれますが、引き続き指定管理者と連携し、広報に努め、貸室利用の促進を図ります。
5	職員の専門知識、技術力を高めます。	行財1-4-①	課内勉強会の開催回数(回)	8	・課内勉強会を8回実施。	課内勉強会	・職員の専門知識・技術力を高め幅広い視点を持って業務を行うことにより区民サービスの向上を目指します。	○	・課内勉強会を8回開催、目標を達成しました。	・来年度以降も継続して、専門分野はもちろんのこと、職員がもっている知見を課員に伝え区民サービスの向上を目指します。

組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数	作成日	R5.4.1
組織名(部)	中央区	組織名 (準部・課・機関名)	総務課	評価日	R6.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	市民の信頼と期待に応えられるよう、職員の市民対応の質を向上させるなど市民の視点を大切にしたい信頼される市政を推進していきます。	行財1-1-①	研修受講者アンケートで「理解できた」「よく理解できた」と回答した人数／研修受講者数 (R4実績90.0%)	90%	93.9%	【研修テーマ】 ・中央区新任職員研修 ・中央区オリジナル接遇研修 ・区長随行研修 など	各種研修の実施により、市民の声をしっかりと聴く体制を整え、職員の市民対応の質を向上させます。	○	区役所新任職員研修・区長随行研修・契約事務出前研修・オリジナル接遇研修を実施。うち、理解度測定のない区長随行研修を除いた理解度は左記のとおりとなりました。 また、受講しやすい環境づくりのため、全職員対象ハラスメント防止研修の上映を複数回実施しました。	接客技術や知識の習得と職員間・所属間の連携強化により、さらなる市民サービス向上を図るため、より効果的な研修実施に努めます。
2	自主防災組織による防災訓練の実施など、幅広い世代が参加する地域の防災活動を支援するとともに、地域の防災リーダーの育成を推進します。	政策13-1-①	・HJR実施校数 ・「防災資機材の取り扱いを他の人に説明できる」を回答した受講生の割合	・8校(区内全中学校) ・90%(R4:93.4%)	8校 92.1%	・中央区ハイパージュニアレスキュー訓練	中学生、地域、防災士が連携して行う避難所運営訓練を、区内全8中学校で実施します。	○	区内の中学校全校(8校)を計画どおり実施。地域や防災士と連携しながら丁寧に説明を行い、受講生の理解度は92.1%で目標を上回りました。	引き続き地域や防災士と連携を図り、中学生の防災意識の向上に努め、地域の担い手の育成を推進していきます。
3	適正な事務の執行を確保するため、コンプライアンスの徹底、内部統制制度による事務ミスや不正の発生防止に努めます。	行財1-1-①	チェックシートを活用した内部チェックの確実な実施	工事契約、物品契約、財産管理業務のすべて	実施率100% 工事契約、物品契約、財産管理業務のすべてにおいて、事務処理のミスや不正の発生を防止しました。	・工事契約 ・物品契約 ・財産管理業務	職員研修などによりコンプライアンス意識の浸透・徹底を図るとともに、内部統制制度を活用し、再発防止の取り組みを所内で共有することで、事務処理誤り等の削減に取り組みます。	○	チェックシートを活用し、担当、副担当、係長の3者で、ダブルチェックを実施し、事務処理のミスや不正の発生を防止しました。	ダブルチェックを徹底し、コンプライアンス制度や内部統制制度による、事務処理ミスや不正の発生防止に努めていきます。

組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合	作成日	R5.5.8
組織名(部)	中央区役所	組織名 (準部・課・機関名)	東出張所	評価日	R6.3.26

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標		主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
			取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	窓口対応における市民の声をしっかりと聴きとり、市民の満足度の向上を図ります。	行財1-1-①	市民アンケート満足度調査の平均点(5点満点)	4.5	4.59	市民アンケート満足度調査	アンケートの実施により事務改善に活かしていきます。	○	目標達成できるよう市民の声をしっかりと聞き取り、丁寧に迅速な窓口対応に努めた結果、目標値を達成することができました。	今後も窓口での手続きが快適にできるよう丁寧に迅速な窓口対応に努めます。
2	適正な事務の執行を確保するため、コンプライアンスの徹底、内部統制制度による事務ミスや不正の発生防止に努めます。	行財1-1-①	業務改善の実施件数	3	3	リスクを踏まえた業務改善の実施	3つの業務担当がそれぞれ1件以上のリスクを踏まえた業務改善を実施します。	○	・切手の保管状況を改善(専門業務以外で使用する切手を一冊のクリアファイルにまとめた) ・出勤退勤時のチェック表を作成(公印管理、現金管理などについて事務ミスや不正防止を図った。 ・申請書等の送達の管理強化(返却される送付書の戻りが遅れている場合、送付先に確認することをルール化)	今後もリスク管理を踏まえ、小さなことでも業務改善につなげるよう努めます。
3	住民自治の基礎となる地域団体として、地域住民が主体となり様々な取り組みを行う自治会・町内会や地域コミュニティ協議会の活動と団体運営を支援します。	政策1-1-①	各地域団体の行事等への参加件数	15	21	地域団体が行う会議等の行事への参加 市・区が主催・共催する行事等への参加	地域団体が行う会議などの行事に参加し、地域との信頼関係を構築して情報収集や課題の把握に努め、地域活動を支援します。	○	地域の方が出席される会合に積極的に参加してきた結果、目標を達成しました。	今後も各地域団体の行事等に参加して信頼関係を築くよう努めます。
4	住民自治の基礎となる地域団体として、地域住民が主体となり様々な取り組みを行う自治会・町内会や地域コミュニティ協議会の地域問題の解決を支援します。	政策1-1-①	地域から相談・要望等への対応件数	18	24	地域団体からの相談・要望への対応	地域団体からの地域としての相談や要望について、その解決を支援します。	○	公共的な相談・要望について、自治会等の地域団体のみならず、地域住民個人からもあり、目標を達成することができました。	個人から公共的な相談・要望も数多くみられることから、丁寧な対応を続けていくよう努めます。

組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合	作成日	R5.4.3
組織名(部)	中央区役所	組織名 (準部・課・機関名)	南出張所	評価日	R6.3.28

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	市民の声をしっかりと聴きとり、窓口業務に反映させ、市民の満足度を高めます。	行財1-1-①	満足度調査の平均点(点)	4.5	4.6	・満足度調査(窓口アンケート)	窓口アンケートを実施し、満足度を5点満点の平均点で調査し、窓口対応向上や事務改善に活かしていきます。	○	窓口アンケートを11/7~17まで実施し、満足度の平均点は目標を達成することができました。12/20に第2回検討会議を開催し、結果を所内に掲示しました。	窓口アンケートに寄せられたご意見を受け、感謝の気持ちと決意を掲示しました。次回はもっと改善要望を書きやすいようにアンケート項目を工夫し、窓口の改善へ繋げられるようにしたいと思います。
2	住民自治の基礎となる地域団体として、地域住民が主体となり様々な取り組みを行う自治会・町内会や地域コミュニティ協議会の活動と団体運営を支援します。	<分野1> 政策1-1-①	会議や行事等の参加または開催した回数(回)	40	40	・地域団体が行う会議や行事への参加 ・地区コミュニティ協議会連絡会の開催 ・市、区が共催する行事等への参加	地域団体が行う会議などに参加し、お話を聞き、助言などを行うことで、地域との信頼関係を深め、地域コミュニティの醸成に寄与します。	○	コロナが5類に移行したこともあって、地域の会合に昨年度よりも多くご案内いただき、積極的に参加した結果、目標を達成することが出来ました。	今後も引き続き地域団体が行う会議や行事へ積極的に参加し、地域との信頼関係の構築に努めたいと思います。
3	適正な事務の執行を確保するため、コンプライアンスの徹底、内部統制制度による事務ミスや不正の発生防止に努めます。	行財1-1-①	内部統制制度の報告件数	現状値以下(令和4年度:1件)	1件	・コンプライアンスの推進	職員研修などによりコンプライアンス意識の浸透・徹底を図るとともに、内部統制制度を活用し、再発防止の取り組みを所内で共有することで、事務処理誤り等の削減に取り組みます。	○	令和5年7月20日に公印(訂正印)[新潟市長印 6mm角、てん書]紛失のため翌日総務部総務課へ「公印事故届書」と「公印新調請求書」を提出しました。令和5年9月6日総務課より内部統制の報告対象になると指示があり、翌日付けで様式4を作成し提出しました。年間1件で目標を達成しました。	コンプライアンスを徹底し、今後も内部統制の不備事項が発生しないように努めます。
4	市民の信頼と期待に応えられるよう、職員の市民対応の質を向上させます。	行財1-1-①	職員1人当たりの研修受講回数(回)	4.0	4.2	・職員の能力開発、キャリア育成 ・専門研修 ・区の主催する研修 ・他出張所との交流研修	人材育成基本方針に基づき、職員に必要とされる基本的な資質・能力の育成や階層別研修のほか、専門能力の向上及び、自己開発に向けた支援を行います。	○	南出張所では所長と運転員を除く18名を対象としています。年間合計76回の研修を受講しました。1人あたりに換算するとおよそ4.2回となり、目標値の4回を上回っています。	今後も職員の能力開発、キャリア育成のため、研修への積極的な参加を支援していきます。